



2014年3月期第2四半期決算説明会

塩見岳から見た小河内岳(左)、前河内岳(中)、烏帽子岳(右)
小河内岳の地下1,400mをリニア中央新幹線が通過



特種東海製紙株式会社



目次

2014年3月期第2四半期連結決算概要

- ・ 連結売上高、経常利益の推移 (p1)
- ・ 2014年3月期第2四半期連結決算の概要 (p2)
- ・ 第2四半期の推進項目 (p3)
- ・ 経常利益の増減要因(第2四半期) (p4)
- ・ セグメント情報 (p5)

2014年3月期連結業績見通し

- ・ 2014年3月期通期連結業績見通し (p6)
- ・ 更なる飛躍のための積極的費用支出の増加 (p7)
- ・ 経常利益の増減要因(通期見通し) (p8)

「更なる飛躍のための戦略」 及び「次期中期経営計画を見据えて」

- ・ 更なる飛躍のための重点項目 (p9)
- ・ 当社の基本戦略 (p10)
- ・ 次期中期経営計画の方向性 (p11)
- ・ 重点項目の利益貢献 (p12)

未来指向プロジェクト(エネルギー事業)

- ・ 売電事業について (p13)
- ・ RPF事業の拡大 (p14)
- ・ リニア工事と当社の取り組み (p15)

NaSFA(新商品の開発)

- ・ NaSFAについて (p16)
 - ・ FIBLICの進捗状況 (p17)
 - ・ 超薄型吸収シート開発の進捗状況 (p18)
 - ・ 偽造防止用黒すかしの進捗状況 (p19)
 - ・ 技術融合型ファンシーペーパーの上市 (p20)
 - ・ コーターヘッド増設の進捗状況 (p21)
- 上期に上市した新商品等
- ・ TT-除染シートSC (p22)
 - ・ ベイビーフェイス (p23)
 - ・ かぐや (p24)

海外展開

- ・ 当社の海外展開について (p25)
- ・ 海外での商品開発 (p26)
- ・ 中日特種紙・正隆社の推進事項 (p27)
- ・ 紙加工品の海外での生産販売 (p28)

他社との部分提携による事業分野の拡大

- ・ 大王製紙との業務・資本提携 (p29)

参考情報

- ・ パンチカードの未来技術遺産登録 (p30)
- ・ オリンピックと当社の歩み (p31)
- ・ Pamのリニューアル (p32)
- ・ 第23回紙わざ大賞 入賞作品展の実施 (p33)



2014年3月期第2四半期 連結決算概要



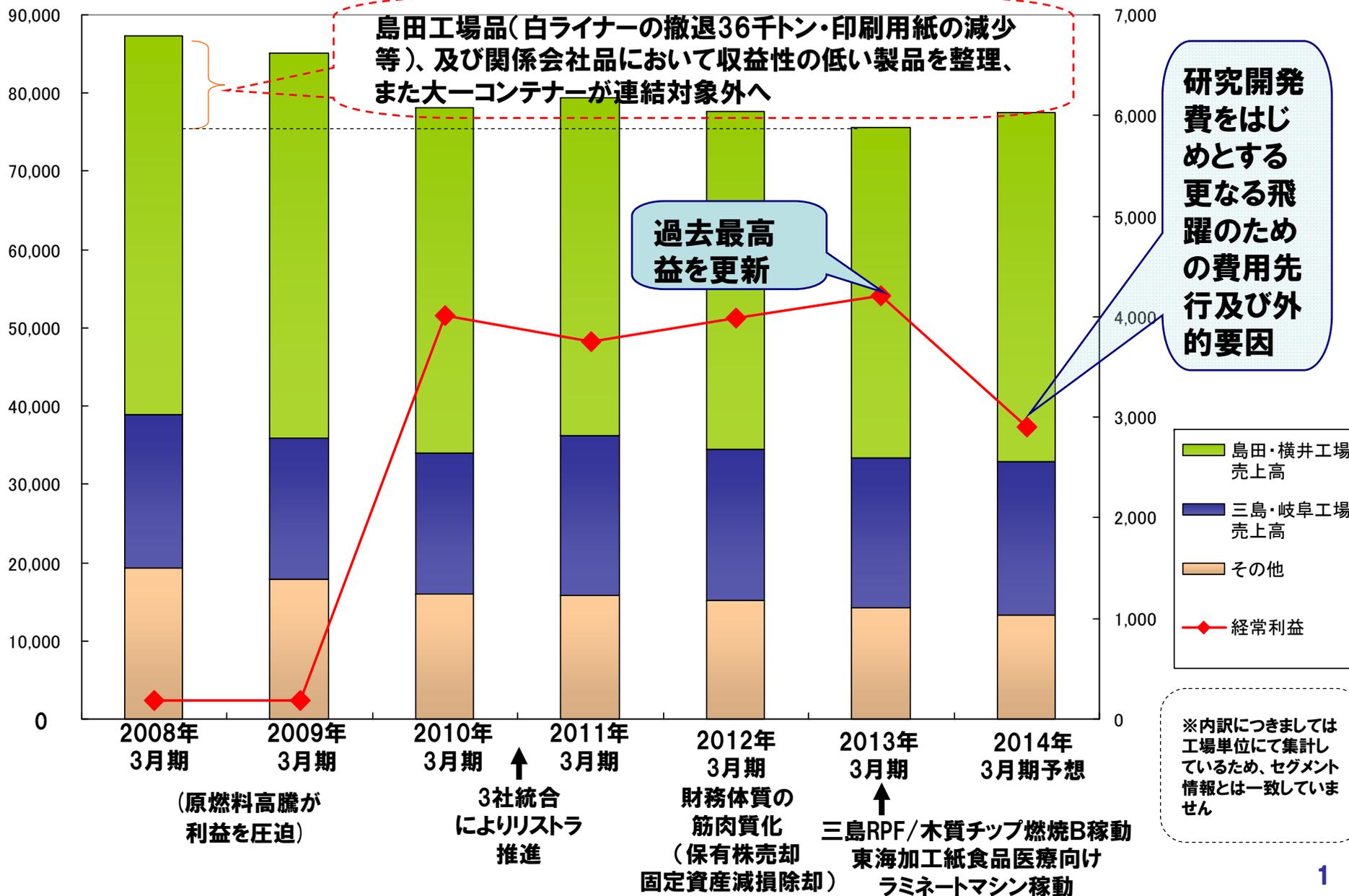
連結売上高、経常利益の推移

左軸：売上高

右軸：経常利益

(百万円)

(百万円)



2014年3月期第2四半期連結決算の概要

単位:百万円

	2013年3月期2Q	2014年3月期2Q	増減
売上高	38,136	38,545	+409(+1.1%)
営業利益	2,501	1,824	△677(△27.1%)
経常利益	2,472	2,013	△459(△18.6%)
売上高 経常利益率	6.5%	5.2%	—————
四半期 純利益	457	1,334	+877(+191.6%)

売上高の増減要因

(産業素材)飲料関連の需要が堅調に推移し販売数量は前年同期を上回ったが、市況価格の軟化により減収となった。

(特殊素材)全般的に堅調な需要に支えられ、販売数量・金額ともに前年同期を上回った。

(生活商品)きめ細かな営業活動等により販売数量が前年同期を上回り、増収となった。

以上の結果、連結売上高は前年同期比で微増となった。

第2四半期の推進項目

1. 新商品の上市

- **特殊紙** ベイビーフェイス(5月)
かぐや(6月)
D'CRAFT(9月)
- **産業用紙** 低坪量強化中芯

2. 販売数量の増加

- **特殊紙** 特殊機能紙増加
- **産業用紙** 飲料缶向けが好調

3. 工場能率の改善

- **特殊紙** 三島工場 木質/RPF
燃焼ボイラー稼働
- **産業用紙** パルプ生産効率向上
国内チップ集荷量アップ

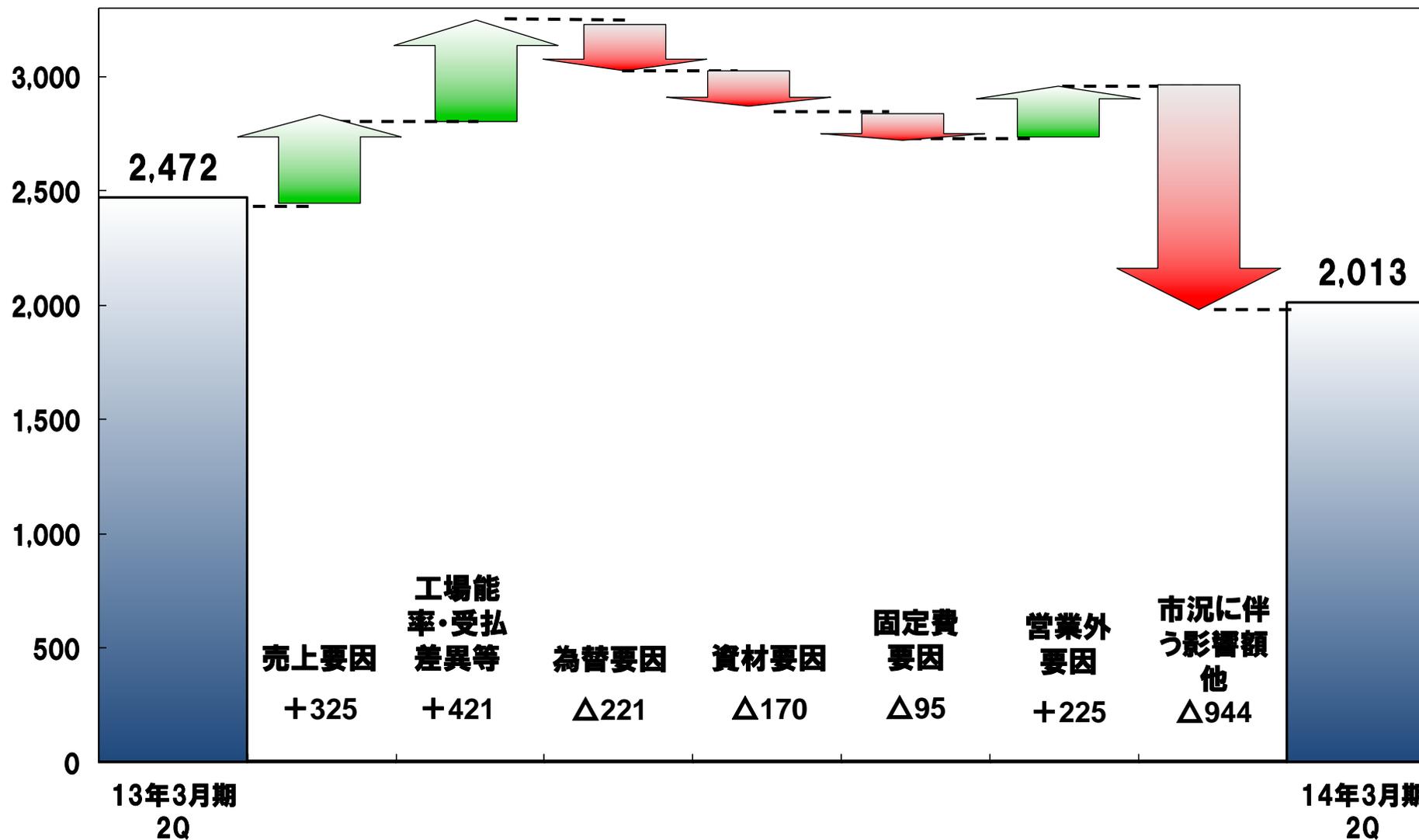
利益増加額

325百万円

421百万円

経常利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円



セグメント情報

単位：百万円

		2013年3月期2Q	2014年3月期2Q	増減
産業素材 事業	売上高	20,711	20,130	△581
	営業利益	1,224	503	△721
特殊素材 事業	売上高	10,296	10,890	+594
	営業利益	1,050	1,246	+196
生活商品 事業	売上高	7,661	8,098	+437
	営業利益	266	81	△185
その他	売上高	2,225	2,028	△197
	営業利益	53	82	+29
消 去	売上高	△2,757	△2,603	+154
	営業利益	△93	△90	+3
合 計	売上高	38,136	38,545	+409
	営業利益	2,501	1,824	△677



2014年3月期連結業績見通し



2014年3月期連結業績見通し

単位:百万円

	2013年3月期	2014年3月期	通期増減
	通期	通期	
売上高	75,564	74,000	△1,564 (△2.1%)
営業利益	4,169	2,700	△1,469 (△35.2%)
経常利益	4,208	2,900	△1,308 (△31.1%)
当期 純利益	2,468	1,400	△1,068 (△43.3%)

前提

為替レート 100円/US\$

原油価格 105-110\$/B
(ドバイ)

※5月14日公表予想から変わらず

更なる飛躍のための積極的費用支出の増加

内部環境要因

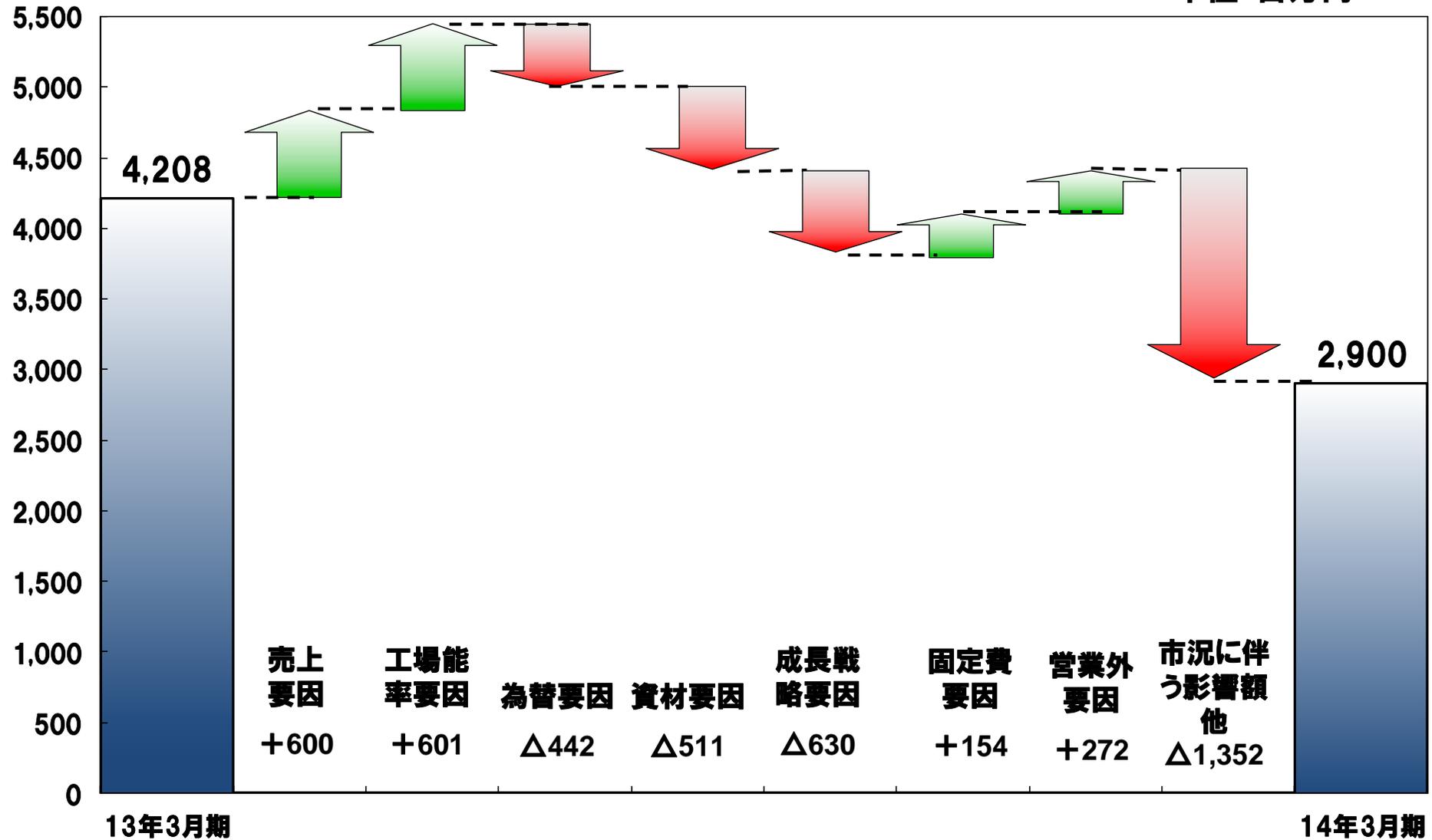
• 研究開発費の増加	△300百万円
• 赤松水力発電所の売電化に伴う 一時的、外部購入電力の増加	△130百万円
• 飛躍のための積極的設備投資に伴う 減価償却費の増加等	△200百万円
計	<u>△630百万円</u>

に加えて

+ 市況要因・円安などの外的要因

経常利益の増減要因(通期見通し)

単位:百万円





**「更なる飛躍のための戦略」及び
「次期中期経営計画
(2014～2016年度)を見据えて」**





更なる飛躍のための重点項目

2014年4月よりスタートする次期中計では
以下を重要項目として選定する。

- ① 未来指向プロジェクト(エネルギー事業)
- ② 新商品の開発(NaSFA)
- ③ 海外展開
- ④ 基盤強化の設備対策 & 販売対策
- ⑤ 他社との部分提携による事業分野の拡大

当社の基本戦略

事業環境

国内市場環境の成熟化、人口減少による内需の縮小
電子媒体の普及
原燃料・化石燃料の高騰
同業他社との競争激化

国内: 製紙事業に囚われず知見を活かしたコアとなる事業を構築

海外: 製紙における販売経路の拡大

海外展開
(アジアがグローバル経済の牽引役)

他社との提携

脱・素材も視野として

未来指向
プロジェクト
(エネルギー事業)

新商品開発
(新たな先端分野
の開発)

価値の創生

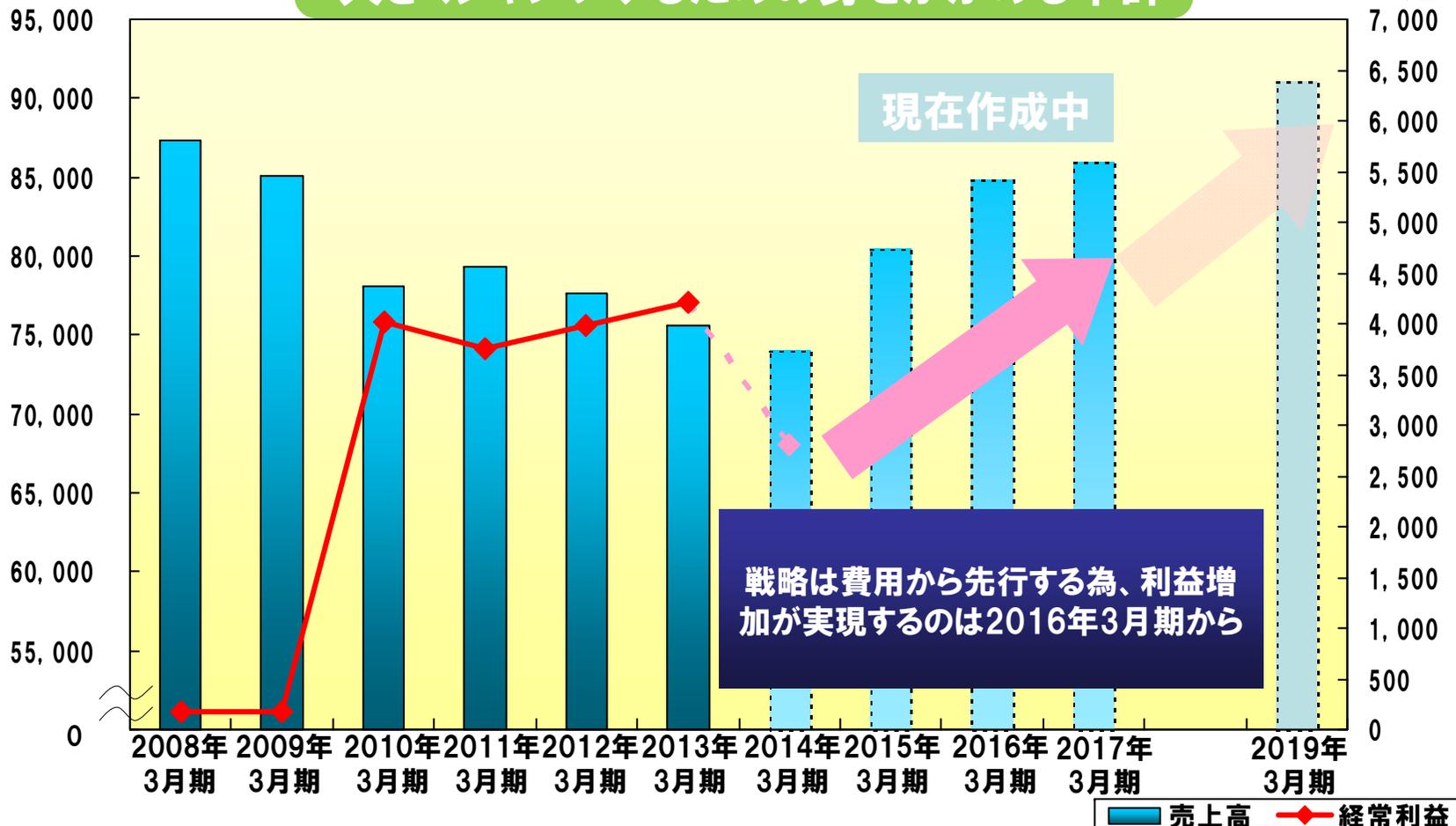
高品質化

次期中期経営計画の方向性

左軸：売上高
(百万円)

更なる飛躍のため費用を先行させ、
大きくジャンプするための身をかめる中計

右軸：経常利益
(百万円)



重点項目の利益貢献 (利益目標)

① 未来指向プロジェクト 例)赤松水力発電 リニア関連 島田新バイオマスボイラー	貢献利益	3,400百万円
② 新商品開発 (NaSFA)	1,500	
③ 海外	400	
④ 基盤強化対策 例)新タオルマシン パルプ活性化	1,100	
⑤ 他社との提携効果	400	
		合計 6,800
これに伴う経費負担増 (減価償却費・研究開発費等)		3,500
		差引 3,300

潜在飛躍項目
フィブリック(FIBLIC)
黒透かし
新規発電工場



未来指向プロジェクト (エネルギー事業)



売電事業について

未来指向

内容

原発停止の長期化、化石燃料の国際的な需給の逼迫により今後、さらに電力価格が上昇することが見込まれる

自家発電率のアップ

当社の施策

売電事業の開始

検討事項

- 具体的には①赤松水力発電所の改修、②島田工場に新バイオマスボイラーを導入、③他社と合併で新規発電工場を建設する
- 新規発電工場からPPS(新電力事業者)経由で各事業拠点(11ヶ所)へ電力供給、さらに外部への売電を行う

今後の展開

決定

① 赤松水力発電所:2013/12更新工事着工、2015/2更新工事完了

検討

② 島田工場バイオマスボイラー:2014年度工事着工、2016年度運転開始

検討

③ 新規発電工場:2014/3FS完了予定

RPF事業の拡大

未来指向

内容

- 固定価格買取制度(FIT)開始によるバイオマスボイラーの建設ラッシュ
- 当社においても島田工場で新バイオマスボイラーの導入検討

バイオマス燃料(RPF)価格の上昇、当社RPF使用量の増加

RPF事業の拡大

RPF事業を行っている、子会社のレックスとの相乗効果が得られるRPF製造企業とのコラボレーションを目指す

島田と沼津にRPF工場を有する

今後の展開

2014/3を目標として他社との提携及びM&Aを検討する

リニア工事業と当社の取り組み

未来指向

内容

- 9月18日JR東海が環境アセス準備書を公表
- リニア路線のうち静岡県を通過する区間はすべて当社社有林の地下部を通過、社有林内2か所からトンネルを掘削

当社はリニア工事業に協力する

- ① 工事用地の協力等による賃貸収入
- ② 東海フォレストの工事参加による利益

今後の展開

- JR東海と工事受入条件の協議(林道東俣線の改良、残土処理方法など)
- リニア工事関連施設を有効活用した観光事業の強化と新規事業の検討



南アルプスはユネスコエコパークの認定を目指すエリアであり、自然との共生を図ることが課題となる



NaSFA
(新商品の開発)



NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

フィブリック (FIBLIC) の進捗状況

(リチウムイオン二次電池用セパレータ)

NaSFA

内容

- リチウムイオン二次電池用セパレータ(絶縁体)の開発に成功、来期よりテスト生産を開始。
- 耐熱セパレータとしては既存のフィルム素材よりも安価に生産が可能。
- **また既存の不織布系セパレータと比べ薄くできるため、同容積での蓄電量増加が可能。**

現在の状況

- テスト販売用の製品を生産するためのテストマシンを島田工場にて建設中。
- 投資金額:約10億円 生産能力:400万m²/年
- ユーザー数社を対象に試作品を提供中。

今後の展開

- **2014年4月にテストマシン完成、テスト生産・販売開始を予定。**
- **テストマシンにて当初見込みよりも3~5倍の速さで生産する処方の確立を進めている。**
- **これによりさらに安価に生産を行うことが可能となる。**



フィブリック 建屋建設

超薄型吸収シート開発の進捗状況

(アルコール系加工機の活用)

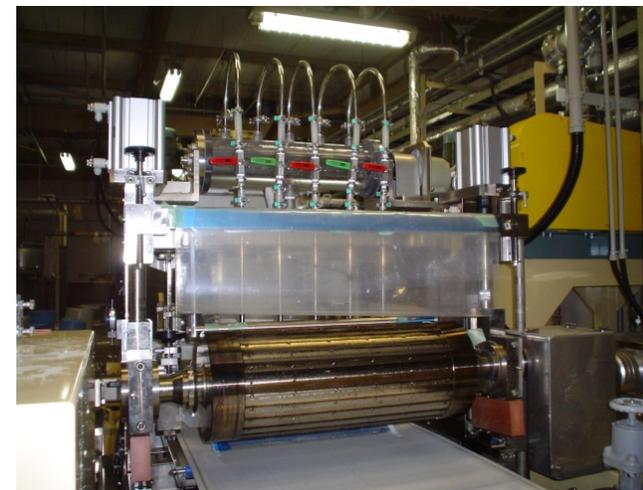
NaSFA

内容

- **大王製紙との共同開発案件。**
- 不織布に高分子吸収体と当社で生産するナノセルロースとの混合物を塗工することで、薄型の吸収体シートの製品化を行う。
- **吸収体シートの厚さは従来品の3分の1以下となる。**

現在の状況

- 2013年8月に加工機ヘッド改造を完了、試運転開始。
- 追加で必要となる設備投資について大王製紙と協議中。



アルコール系加工機

今後の展開

- 2013年12月に量産試作、**2014年5月にテスト販売開始を目指す。**
- 将来的には30億円規模の本機導入を行い、4億円/年の貢献利益を見込む。

偽造防止用黒すかしの進捗状況

NaSFA

内容

- 2013年3月に日本の黒すかし規制が緩和され、民間における製造の可能性が広がった。
- 2013年5月「TTマーク」の抄造許可が、また6月には人物像の抄造許可が財務省より下りた。

現在の状況

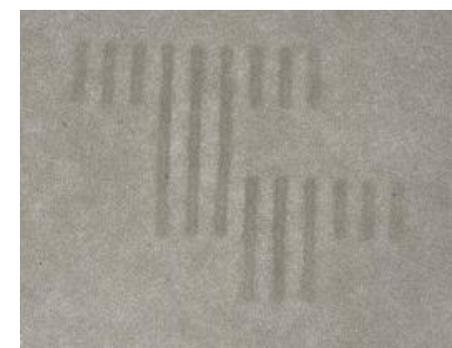
- 代理店及びコンバーター数社より黒すかしを使った高グレード偽造防止用紙の引き合いを受け、仕様や価格帯等の検討を進めている。
- 商社と協力して当社試作のパスポート用紙に係る市場調査を東南アジア諸国において実施している。

今後の展開

- 新規案件の市場調査を進めるとともに、産学連携で黒すかし技術の共同開発を行う。
- 2020年の東京オリンピックに向けて、セキュリティー用紙への更なる技術応用の可能性を模索する。



人物像



TTマーク

技術融合型ファンシーペーパーの上市

(商品名:D'CRAFT)

NaSFA

内容

- 産業素材事業Gの生産力と特殊素材事業Gの技術力を融合した商品。
- 用途は包装紙、手提げ袋、メモパッド等の文具を想定。
- クラフト紙をベースに、色・風合い・パターンを付与し従来のファンシーペーパーとは異なる、新規用途への展開を図る。

現在の状況

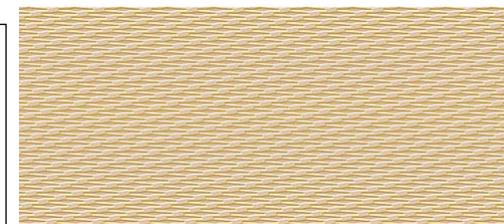
- 9月17日に発売開始。当初は6種類で順次追加予定。
- 代理店は9社決定済。



D'CRAFT フラワー

今後の展開

- 11月よりLOFT渋谷店でクリスマス用包装紙として推奨。
- BtoC取引を拡大させていく。
- 今期は5,000万円、将来的には10億円の売上を目指す。



D'CRAFT フランネル

コーターヘッド増設の進捗状況

NaSFA

内容

- 従来と異なる塗工方法により新たな塗工紙の製造を可能とする、現在最良の塗工設備を増設。
- 投資額 約25億円。
- これまでになかった塗工紙の生産を行うことで新分野への参入が可能。
- また塗工量が削減できることにより価格競争力がつき、特殊紙分野における当社のシェアを拡大することが可能。

現在の状況

- 社内評価ではテストコーターを使って目的商品に新たな機能が付与されていることを確認。

今後の展開

- 2013年12月に増設完了。
- 増設完了後本設備にて試作を行い、2014年度中に生産、上市。



C8加工機



上期に上市した新商品等



TT - 除染シートSC

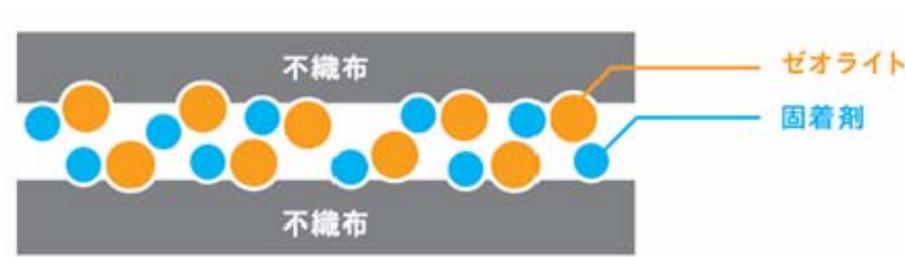
上市済商品

【ユーザー及び用途】 除染事業者(ゼネコン、東芝、日立他)

- 【特徴】
- ① 不織布間にゼオライトを挟み込んでいる
 - ② セシウム吸着性能が 95%以上
 - ③ 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能

【目標】 3年後 売上 150,000千円/年

【進捗】 2012年8月販売開始



ベビーフェイス

上市済商品

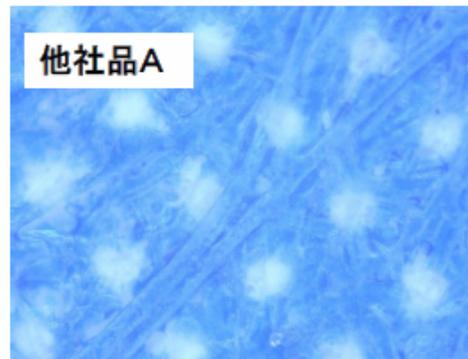
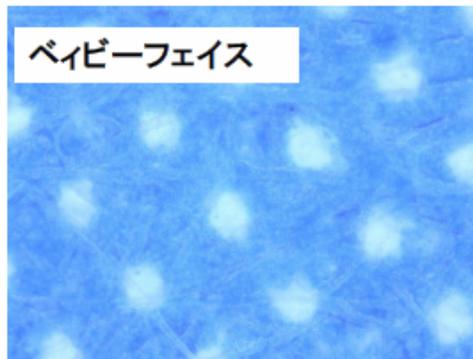
～高級印刷用紙の新しいスタンダード～

- 【特徴】 ①印刷発色性・印刷再現性に優れる
②すべらかでナチュラルな肌合い
③このジャンルではお手軽価格

【目標】 売上 222,200千円／年(3年後)

【進捗】 2013年5月23日発売 4連量3寸法

すぐれた印刷再現性
(網点写真シアン95%)



繊維の被覆性が良いため
網点の再現性が良好

Baby Face

かぐや

上市済商品

【特徴】 ①月の表面の凹凸感を表現

②色名もその色から月を連想

【目標】 売上 22,000千円／年(3年後)

【進捗】 2013年6月4日発売 全10色



新月	
三日月	
上弦	
十三夜	
満月	
いざよい	
たちまち	
ねまち	
下弦	
有明	



海外展開



当社の海外展開について

海外展開

特種東海製紙

技術提供

得意分野での海外進出

中日特種紙(台湾)

多品種小ロット

薄物高付加価値機能紙

例)ティーバッグ紙

正隆社(台湾)

少品種大ロット

廉価な機能紙

例)NF耐油紙

福蓬萊(香港)

東海加工紙が設立した子会社

近々、猫砂の国内販売開始

日本、中国及び東アジア市場へ販売

海外での商品開発

海外展開

当社グループでは実現できないコスト、設備での商品開発

東海加工紙子会社
福蓬菜



薄紙、小ロット、合繊が特徴
の**中日特種紙**、**長宜特種紙**



大量生産、低コストが特徴
の**正隆社**、**中隆社**

中日特種紙・正隆社での推進事項

海外展開

中日特種紙

- **高速製袋機対応ティーバッグ用紙**の生産体制を構築中。
- コスト競争力のある生産拠点となるように関係を強化。
- 技術開発員の派遣によるコスト競争力の強化(ユーティリティ原単位の改善)。
- ユーザー情報の共有化による営業競争力強化(薄物機能紙・ファンシー拡販)。



ティーバッグ用紙

正隆社

- **2013年8月にNF耐油紙**を上市。
- **食品用剥離紙の技術提供**。
- 大型マシン及び薄物に適した塗工機の活用により、食品、工業用工程紙の更なる共同品の開発に取り組む。
- 当社の技術、ノウハウと正隆社の設備を利用し、大型機能紙の海外展開を進める。



食品用剥離紙

紙加工品の海外での生産販売 (猫砂)

海外展開

- ・ 福蓬萊有限公司
 - ・ 当社製は紙加工品であるためトイレに流すことが出来、簡易的・衛生的である。
- ⇒近々、国内販売開始
⇒タイやマレーシアなどのアジア地域の販売開始を始めとして、北米なども検討



トイレに流せる紙の猫砂



猫砂製造設備(中国・惠州)



他社との部分提携による 事業分野の拡大



大王製紙との業務・資本提携

他社との提携

業務提携

- 大王製紙の子会社が保有する加工設備を明治製紙に移設し、トイレットペーパーの生産体制を強化する。
- 当社が保有するナノセルロース技術と大王製紙が保有する商品開発力を融合させることにより、付加価値の高い新製品を共同開発していく。
- 輸送コストを考慮した、段ボール原紙の地域生産に関する相互協力体制構築を検討する。

資本提携

- 発行済み株式総数の3%を相互保有する。



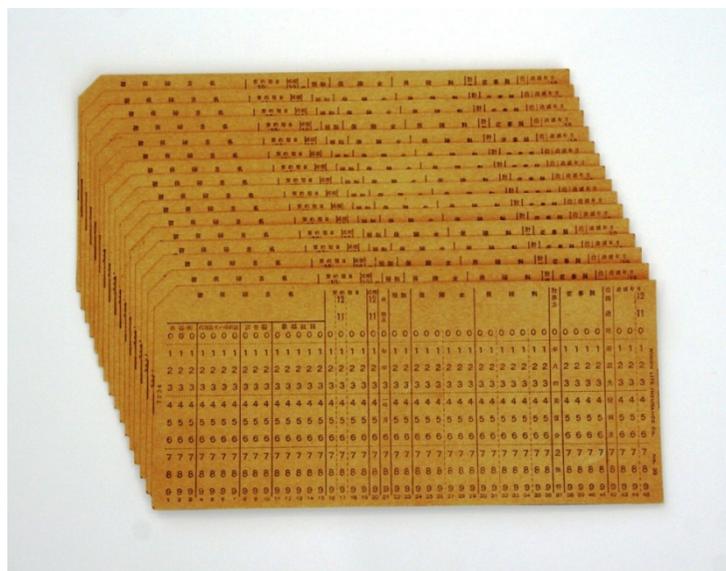
参考情報



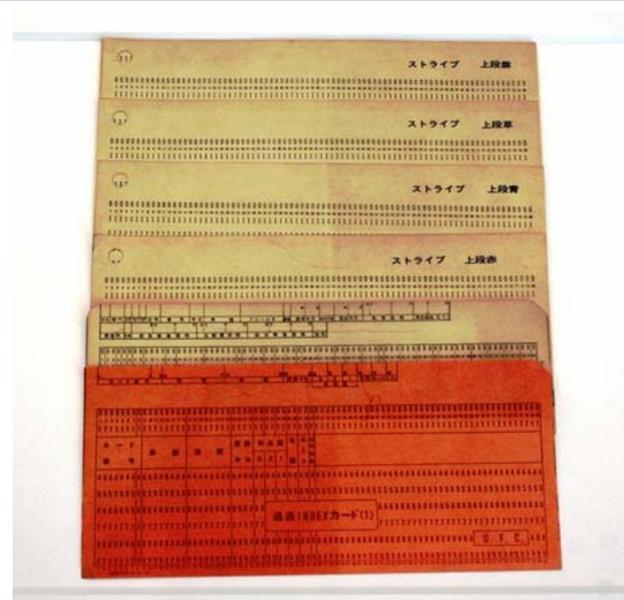
パンチカードの未来技術遺産登録

内容

- 国立科学博物館が実施している「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」に情報化時代の草分けとなった国産最初期の当社製パンチカード「レミントン統計カード」および「IBM統計カード」が登録された。
※重要科学技術史資料の登録制度は平成20年度より実施
- 紙製品としては制度実施以来、初めての登録となる。



レミントン統計カード

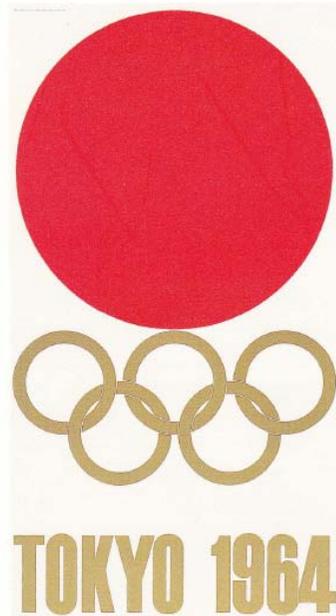


IBM統計カード

オリンピックと当社の歩み

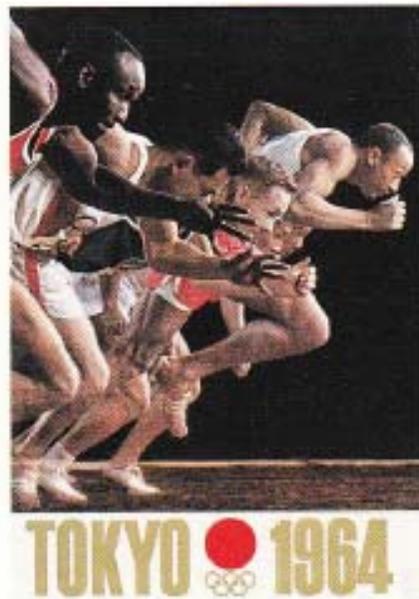
内容

- 当社はこれまで1964年の東京オリンピック、1972年の札幌オリンピック、1998年の長野オリンピックのポスター、入場券等の原紙を提供してきた。
- 2020年東京オリンピックにおいても黒すかし技術をはじめとして、当社の最新技術を取り入れた原紙を提供することを目指している。



東京オリンピック 勲章建築(3点と6) 1961年

東京オリンピック第1号ポスター
製品名:「オペーク オリンピア」



東京オリンピック 1962年

第 2号ポスター



製品名:「東京オリンピック入場券用紙」

Pamのリニューアル



第23回紙わざ大賞 入賞作品展の実施

- 会期 2013年12月12日(木)～15日(日)10:00～19:00(最終日は17:00まで)
- 会場 銀座十字屋ホール 東京都中央区銀座3-5-4
- 入場無料



会場までのアクセス



〒104-0061 東京都中央区銀座3-5-4 十字屋ホール9階 TEL 03-3561-5250

● 東京メトロ 銀座駅 (A9・A13出口) 徒歩2分

● 東京メトロ 銀座一丁目駅 (8出口) 徒歩2分 ● JR 有楽町駅 徒歩7分

※ 駐車場のご用意はありませんので、最寄りの交通機関をご利用下さい。



お問い合わせ先：財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
常和八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がありますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。